

(別紙)

	(1)紙書類による手続き【現行】	(2)都道府県がオンライン申請システムを構築【今回の提案】	(3)市町村がオンライン申請システムを構築【理想】	(4)国がオンライン申請システムを構築【最終的な理想】
申請から判定までの流れ	①申請者は市町村役場に出向いて書類を提出 ②市町村で書類を審査し、都道府県に送付 ③都道府県で書類を審査し、認定or却下の判定。 ④判定結果を市町村へ送付。 ⑤市町村から申請者に対して判定結果を通知。	①申請者はオンラインシステムで申請。 ②都道府県で申請データを受取り、該当市町村へ送付。 ③市町村でデータを受取り、審査のうえ都道府県へ返送。 ④都道府県でデータを審査し、認定or却下の判定。 ⑤判定結果を市町村へ送付。 ⑥市町村から申請者に対して判定結果を通知。	①申請者はオンラインシステムで申請。 ②市町村でデータを受取り、審査のうえ都道府県へ返送。 ③都道府県でデータを審査し、認定or却下の判定。 ④判定結果を市町村へ送付。 ⑤市町村から申請者に対して判定結果を通知。	①申請者はオンラインシステムで申請。 ②市町村でデータを受取り、審査のうえ都道府県へ返送。 ③都道府県でデータを審査し、認定or却下の判定。 ④判定結果を市町村へ送付。 ⑤市町村から申請者に対して判定結果を通知。
判定までの日数等	2週間程度	1週間程度 ※書類の送付にかかる日数が縮小される	数日～1週間程度 ※(2)と比較して都道府県から申請データを市町村へ送付する日数が縮小される	数日～1週間程度 ※(2)と比較して都道府県から申請データを市町村へ送付する日数が縮小される
申請者のメリット		・市町村役場に出向くことなく申請を行うことができる(郵送の場合も投函するなどの手間を省くことができる) ・申請から判定までの期間が縮小される	・市町村役場に出向くことなく申請を行うことができる(郵送の場合も投函するなどの手間を省くことができる) ・申請から判定までの期間がより縮小される	・市町村役場に出向くことなく申請を行うことができる(郵送の場合も投函するなどの手間を省くことができる) ・申請から判定までの期間がより縮小される
課題	・多くの申請者は市町村役場に出向いて申請を行っており、負担が生じている。 ・申請から判定まで時間がかかる。	・(3)、(4)と比較して判定までの日数が増加する	・小規模な自治体ではオンライン申請システムの構築が進まない	

*「判定までの日数等」については、都道府県が審査を行うにあたって判定機関への照会を行う日数等は考慮していない。